



○新各務原特別支援学校整備を考える座談会

昨年度に引き続き、新各務原特別支援学校整備について考える「座談会」を実施しています。特別支援教育の有識者や教員、県内特別支援学校在学中の児童の保護者等から頂いたご意見の一部をご紹介します。

<第3回座談会（令和3年5月17日（月）実施）>

○プールについて、屋外プール+屋内ジャグジーが良い。ジャグジーを広めに作るとプールとしても使える。

○高等部の作業学習^{*}について、幅広い生徒の実態に対応できるようにしたい。各務原市はものづくり産業が活発のため、ものづくり中心が良いのではないか。

※作業学習とは、特別支援学校の主に高等部の生徒が、卒業後の社会自立を目指して、働くための基礎的・基本的な態度・知識・技能を習得するための学習です

<第4回座談会（令和3年7月5日（月）実施）>

○小学校のプールは、年々暑くなってきているため、暑い時期のプール指導は熱中症の心配をして8時半くらいに時間を繰り上げて行っている。また6月は梅雨で天候に左右されるため、6月から9月中旬がプール指導の時期といっても、実際はかなり限られた時期にしか安全にプール指導ができない状況。やはり屋根があると熱中症の心配が軽減され安全だし、温水だと子どもたちへの刺激も柔らかく、体も動かしやすいと思う。

○心臓病等の病弱の児童生徒や自閉症等で感覚の過敏な児童生徒のプール利用を考えると、日差しをよけることができる屋根や、水温調節のできる温水化されたプールは必要であると思う。また、医療機器をプールサイドに持ち込む必要がある児童生徒にとっても、屋根のあるプールは安全安心なものになると思う。

○現在の各務原特別支援学校の作業学習案は、従来の各務原特別支援学校らしさに加え、新しい喫茶やビルクリーニングを入れたというところで、よく考えられていると思う。（現在は、木工、園芸、窯業、縫製、印刷、オフィスワークを行っている）

<第5回座談会（令和3年9月6日（月）実施）>

○放課後デイサービスの利用者はどんどん増えてきており、大型の車が来ることも考えられる。肢体不自由の児童生徒は乗り降りにも時間がかかることを考え、十分な駐車スペースと安全な動線を考えてほしい。

○保護者は放課後デイサービスとか就労に関する情報をどこに行ったらもらえるのかが分からないことに困っている。地域支援室を、気軽に出入りできて情報が得られる場所にしてほしい。

○就労移行支援事業所の立場からの意見として、その方にあった事業所に行けるように、保護者の方々と直接会ってお話ができる機会があるといい。事業所が出向いていける地域支援室になるとありがたい。

毎回多くの貴重なご意見を頂いています。

これらをもとに、よりよい特別支援学校になるよう、令和4年1月を目標に基本設計を進めていきます。

新特別支援学校の建設について、市ウェブサイトにて公開中！児童生徒等みなさんのご意見も募集しております。

QRコードはこちらから→



【お問合せ先】

各務原市役所 教育委員会事務局 教育施設整備推進室
電話：058-383-7302（直通）